
320 ユーザーマニュアル

リリース v1.1.1

2026-09-02

目次

1 システム設定	3
1.1 入出力設定	3
1.2 共通機能	6
2 インターフェース設定	7
2.1 インターフェースの種類	7
3 データ編集	11
3.1 導入	11
3.2 プレフィックス/サフィックスの付加	12
3.3 すべてのシンボル体系にキャリッジリターンサフィックスを追加する	14
3.4 すべてのエンシンボル体系に改行サフィックスを追加する	14
3.5 すべてのシンボル体系にキャリッジリターンとラインフィードのサフィックスを追加します。	15
3.6 キーボード操作	15
3.7 プレフィックス/サフィックスのクリア	16
3.8 機能コード送信	17
3.9 バーコードの送信遅延	18
4 バーコード設定	18
4.1 シンボル体系	18
5 付録	67
5.1 1次元シンボル体系	67
5.2 QR シンボル体系	69
5.3 郵便番号	69
5.4 ASCII 変換表	69
5.5 バーコードの例	72
5.6 付録チャート	77
5.7 キーボード操作 ASCII 変換	80

1 システム設定

1.1 入出力設定

導入

この章では、バーコードリーダーの電源がオンになり、デコードされ、ボタンがトリガーされたときのブザーと LED の設定を主に紹介します。

電源投入時通知音設定

電源投入通知音、つまり、バーコードリーダーの電源が正常に投入された後、動作状態に入るように促すブザーを鳴らすことができます。使用状況に応じて、通知音を鳴らさないように設定することもできます。既定値：電源が正常に起動すると通知音が鳴ります。



電源投入に成功してもビープ音が鳴らない



* 電源が正常に起動すると、通知音が鳴ります。

トリガーデコードサウンド設定

デコードスイッチをトリガーした後、デコードされたかどうかに関係なく、バーコードリーダーはスイッチがトリガーされたことを示すトーンを発することができます。既定値：デコードスイッチをトリガーするときにビープ音を鳴らさない



* デコードスイッチをトリガーするときにビープ音が鳴らない



デコードスイッチをトリガーすると音が鳴ります。

デコード成功後の通知音の設定

デコード成功通知音応答設定

デコードが成功すると、デコードが成功したことを示すブザーが鳴ります。通知音が必要な場合は、デコードが成功した後に通知音を鳴らさないように設定できます。既定値：デコード成功後の通知音。



デコード成功後にビープ音が鳴らない



* デコードが成功すると、通知音が鳴ります。

デコード成功音量設定

デコードが成功した後に次のバーコードをスキャンして、バーコードリーダーのビープ音の音量を変更します。既定値：高。



低い



真ん中



* 高い



無効にする

デコード成功通知音周波数設定

次のバーコードをスキャンして、デコードが成功した後にバーコードリーダーのビープ音の周波数を変更します。既定値は中です。



* 中 (2400 Hz)



低 (1600Hz)



高 (4200Hz)

デコード成功通知音の長さの設定

次のバーコードをスキャンして、デコードが成功した後のバーコードリーダーのビープ音の長さを変更します。既定値：通常。



* 通常のビープ音



短いビープ音

デコード失敗通知音周波数設定

次のバーコードをスキャンして、デコード失敗後のバーコードリーダーのビープ音の周波数を変更します。既定値：ラズ。



* ラズ (250 Hz)



中 (3250Hz)



高 (4200Hz)

コード読み取り遅延

次のバーコードをスキャンして、バーコードリーダーが1つのバーコードを読み取ってから次のバーコードを読み取るまでの時間間隔を設定します。既定値 = 750 ms。



遅延なし



* 短い遅延 (750 ミリ秒)



中遅延 (1,000 ミリ秒)



ロングディレイ (1,500ms)

1.2 共通機能

工場出荷時の既定設定

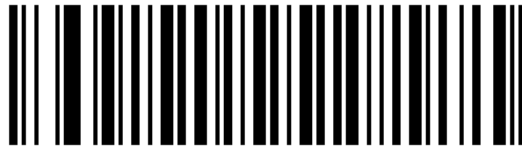
バーコードリーダーに既定設定を適用する場合は、以下の「工場出荷時の既定設定のロード」バーコードをスキャンして、バーコードリーダーを工場出荷時の既定設定にリセットします。



工場出荷時の既定設定をロードする

ファームウェアバージョン表示

次のバーコードをスキャンすると、現在のファームウェアのバージョン、ユニットのシリアル番号、その他の製品情報が出力されます。



バージョン情報を表示する

2 インターフェース設定

2.1 インターフェースの種類

導入

この章では、2つのインターフェイスタイプ USB および RS232 を紹介し、それらに関連する構成をリストします。

RS232

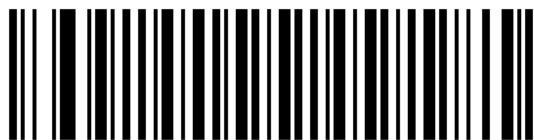
RS232 インターフェースに接続するには、「RS232」バーコードをスキャンする必要があります。既定のシリアルポート関連の設定は、115200 ボーレート、8 データビット、チェックビットなし、1 ストップビットで、キャリッジリターンとラインフィードが既定では追加されません。



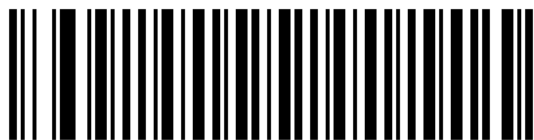
RS232

RS232 ボーレート

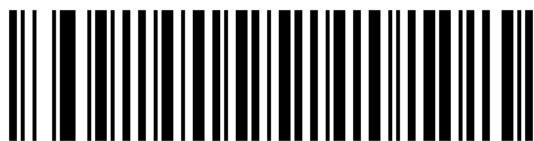
ボーレートは、指定されたレートでバーコードリーダーからホストにデータを送信します。通常の通信では、ホストはバーコードリーダーと同じボーレートに設定する必要があります。既定値：115200。



300



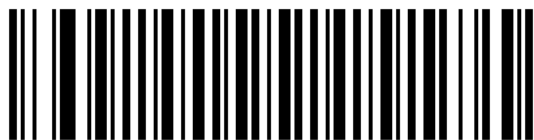
600



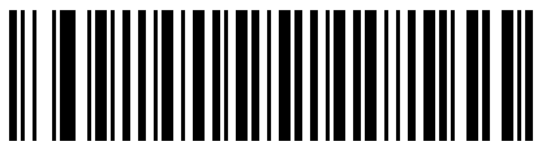
1200



2400



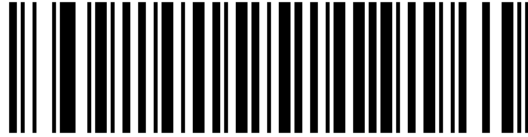
4800



9600



19200



38400



57,600



* 115,200

RS232 ワード長: データビット、ストップビット、パリティ

データビット: 7 または 8 データビットの送信を選択できます。通常の通信では、ホストはバーコードリーダーと同じデータビットに設定する必要があります。既定値: 8。

ストップビット: ストップビットは 1 または 2 に設定できます。通常の通信では、ホストはバーコードリーダーと同じストップビットに設定する必要があります。既定値: 1。

パリティチェック: 文字のビットパターンをチェックする方法。通常の通信では、ホストはバーコードリーダーと同じパリティビットに設定する必要があります。既定値: なし。



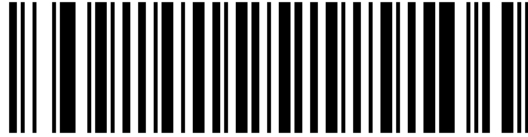
7 データビット、1 ストップキャラクタ、偶数パリティビット



7 データビット、1 ストップキャラクタ、パリティビットなし



7 データビット、1 ストップキャラクタ、奇数パリティビット



7 データビット、2 ストップキャラクタ、偶数パリティビット



7 データビット、2 ストップキャラクタ、パリティなし



8 データビット、1 ストップキャラクタ、偶数パリティビット



8 データビット、1 ストップキャラクタ、奇数パリティビット



7 データビット、2 ストップキャラクタ、奇数パリティビット

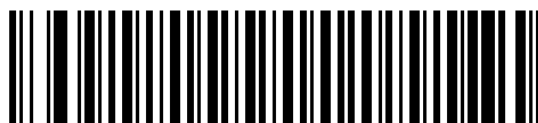


* 8 データビット、1 ストップキャラクタ、パリティビットなし

USB

USB PC

次のバーコードをスキャンして、バーコードリーダーを USB PC キーボードモードに設定します。キャリッジリターンとラインフィードは既定では追加されません。



USB Keyboard (PC)

USB COM

次のバーコードをスキャンして、バーコードリーダーを USB COM モードに設定し、RS232 に基づいて通常の COM ポートをシミュレートします。Microsoft® Windows® PC をご利用の場合は、ドライバーをダウンロードする必要があります。Apple® Macintosh を使用している場合、コンピュータはバーコードリーダーを USB CDC タイプのデバイスとして認識します。



USB COM

i 注釈

追加の構成 (ボーレートなど) は必要ありません。

3 データ編集

3.1 導入

バーコードリーダーが正常にデコードすると、データの文字列が取得されます。このデータ列には、数字、英語、記号などが使用でき、QR コードの場合は漢字も使用できます。このデータ列がバーコードに含まれるデータ情報です。実際のアプリケーションでは、バーコードのデータ情報が必要なだけでなく、取得したデータ情報の文字列がどのタイプのバーコードからのものであるかを知る必要がある場合や、バーコード情報がスキャンされた日を知る必要がある場合、またはバーコードの読み取り後にバーコードのテキストを自動的に折り返して入力する必要がある場合があります。これらの要件は、バーコードのデータ情報に含まれない場合があります。

コーディング時にこれらの内容を追加すると、必然的にバーコードデータの長さが長くなり、柔軟性に欠けます。バーコードデータ情報の前後に人為的に内容を追加し、必要に応じて追加内容をリアルタイムに変更したり、追加するかブロックするかを選択できます。バーコードデータ情報のサフィックスです。サフィックスやサフィックスを追加することで、バーコード情報の内容を変更することなく要件を満たします。

- 1つのシンボル体系またはすべてのシンボル体系に対してプレフィックスまたはサフィックス文字を追加または削除できます。
- [ASCII 変換表](#) を使用してプレフィックスまたはサフィックスを追加します
- 出力に表示される順序でプレフィックスまたはサフィックス文字を追加します。
- 特定のシンボル体系 (またはすべてのシンボル体系) を設定する場合、特定のバーコードタイプのシリアル番号に対応するシンボル体系にプレフィックスまたはサフィックス文字を追加します。
- プレフィックスまたはサフィックス構成の最大サイズは 200 文字です。

3.2 プレフィックス/サフィックスの付加

1. 「プレフィックスの追加」または「サフィックスの追加」バーコードをスキャンします。
2. プレフィックスまたはサフィックスを追加するシンボル体系を決定し、1次元シンボル体系から2桁の16進値を決定します。たとえば、Code 11の場合、バーコードタイプのシリアル番号は「h」、16進数IDは68です。
3. 付録チャートの2つの16進数をスキャンするか、9、9をスキャンします。すべてのシンボル体系に適用されます。
4. ASCII変換表からプレフィックス/サフィックスの16進値を決定します。
5. 付録チャートの2桁の16進値をスキャンします。
6. プレフィックス/サフィックス文字ごとに手順4と5を繰り返します。
7. バーコードシリアル番号を追加するには、5、C、8、0をスキャンしてください。

AIM IDを追加するには、5、C、8、1をスキャンします。

バックスラッシュ () を追加するには、5、C、5、Cをスキャンします。

注釈

手順7でバックスラッシュ () を追加するには、5Cを2回スキャンする必要があります。1回目は先頭のバックスラッシュを作成し、次にバックスラッシュ自体を作成します。

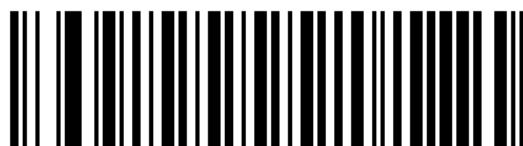
8. 「保存」バーコードをスキャンして終了して保存するか、「破棄」バーコードをスキャンして保存せずに終了します。手順1～6を繰り返して、他のシンボル体系にプレフィックスまたはサフィックスを追加します。



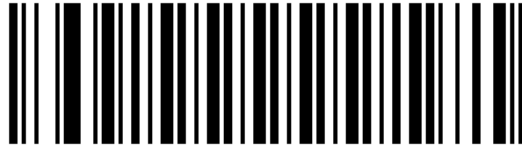
プレフィックスを追加する



接尾語を追加



保存



あきらめる

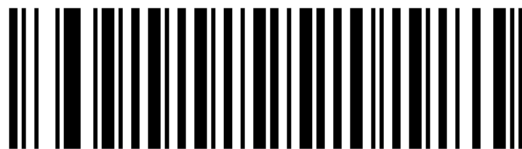
i 例

特定のシンボル体系にサフィックスを追加する

CR (復帰) サフィックスを Code 128 に追加します。

ステップ:

1. 「サフィックスの追加」バーコードをスキャンします。
2. 1次元シンボル体系 から Code 128 の 2桁の 16進値を決定します: 6A。
3. 付録チャート から「6」、「A」バーコードをスキャンします。
4. ASCII 変換表 から復帰サフィックスの 16進値を決定します: 0D。
5. 付録チャートの「0」および「D」バーコードをスキャンします。
6. 「保存」バーコードをスキャンするか、「破棄」バーコードをスキャンして保存せずに終了します。



接尾語を追加



6



A



0



D



保存

3.3 すべてのシンボル体系にキャリッジリターンサフィックスを追加する

すべてのシンボル体系にキャリッジリターンサフィックスを追加するには、次のバーコードをスキャンしてください。この操作では、まず現在のサフィックスをすべてクリアしてから、すべてのシンボル体系にキャリッジリターンサフィックスを追加します。



すべてのシンボル体系にキャリッジリターンサフィックスを追加する

3.4 すべてのエンシymbol体系に改行サフィックスを追加する

すべてのシンボル体系にキャリッジリターンとラインフィードのサフィックスを追加するには、次のバーコードをスキャンしてください。この操作では、まず現在のサフィックスをすべてクリアし、次にキャリッジリターンとラインフィードのサフィックスをすべてのシンボル体系に追加します。



すべてのエンコーディングに改行サフィックスを追加する

3.5 すべてのシンボル体系にキャリッジリターンとラインフィードのサフィックスを追加します。

すべてのシンボル体系にキャリッジリターンとラインフィードのサフィックスを追加するには、次のバーコードをスキャンしてください。この操作では、まず現在のサフィックスをすべてクリアし、次にキャリッジリターンとラインフィードのサフィックスをすべてのシンボル体系に追加します。



すべてのシンボル体系にキャリッジリターンとラインフィードのサフィックスを追加します。

3.6 キーボード操作

出力のデコード後に自動保存を実行するなど、出力のデコード時にさまざまな操作を実行するようにキーボードを構成できます。

1. キーボード操作 [ASCII 変換](#) から実行するキーボード操作に対応する 16 進数 2 桁の値を求め、設定が必要なコード系の 16 進数 2 桁の値を求めます。
2. まず、「キーボードアクションの追加」バーコードをスキャンします。
3. 次に、キーボード操作とバーコード出力の順序を決定します。キーボード操作が先にある場合は、「プレフィックスの追加」バーコードをスキャンします。キーボード操作が続く場合は、「サフィックスの追加」バーコードをスキャンします。
4. 対応する値 (シンボル体系および対応するキーボード操作を含む) に従って、[付録チャート](#) の対応する 4 桁の 16 進値をスキャンします。
5. 「保存」バーコードをスキャンします。
6. 「キーボードアクションの追加の終了」をスキャンします。



キーボードアクションの追加を開始する



キーボード操作の追加を終了

例

すべてのシンボル体系の出力をデコードした後に保存する操作を追加

まず、実行する操作を確認します。バーコードが出力された後に保存する、つまり、出力されたバーコードの後にサフィックスを追加します。次に、付録の表に従って、対応する 16 進

値を決定します。すべてのシンボル体系は「9」と「9」に対応し、保存操作は「1」と「3」に対応します。

確認後、「キーボード操作の追加」バーコード、「サフィックスの追加」バーコード、「9」をスキャンします。

「9」、「1」、「3」、最後に「保存」バーコードをスキャンします。

(このうち、「9」と「9」はすべてのシンボル体系に対応し、「1」と「3」は保存前のデコードと出力に対応します)

3.7 プレフィックス/サフィックスのクリア

シンボル体系のプレフィックス/サフィックスをクリアできます。シンボル体系のプレフィックス/サフィックスが追加されている場合は、スキャンできます。

「シンボルのプレフィックス/サフィックスをクリア」バーコードは、このシンボルからすべてのプレフィックス/サフィックス文字を削除します。すべてのシンボル体系プレフィックス/サフィックスを削除するには、「すべてのシンボル体系プレフィックス/サフィックスをクリア」をスキャンします。

1. 「シンボルのプレフィックスをクリア」または「シンボルのサフィックスをクリア」バーコードをスキャンします。
2. プレフィックス/サフィックスのエンコーディングをクリアするには、1次元シンボル体系から2桁の16進値を決定します。
3. 付録チャートの2桁の16進値をスキャンします。たとえば、「9」をスキャンすると、「9」バーコードはすべてのシンボル体系に適用されます。
4. 「保存」バーコードをスキャンします。



シンボル体系のプレフィックスをクリアします



シンボル体系のサフィックスをクリアします



保存

プレフィックスの選択



プレフィックスを追加する



すべてのコードプレフィックスをクリアする



シンボル体系のプレフィックスをクリアします

サフィックスの選択



接尾語を追加



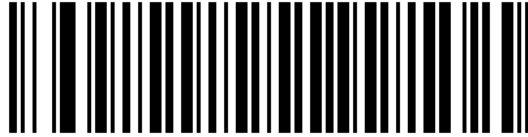
すべてのコードサフィックスをクリアする



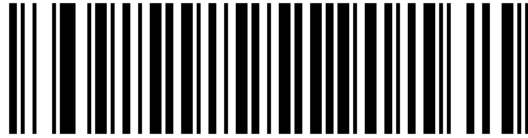
シンボル体系のサフィックスをクリアします

3.8 機能コード送信

ファンクションコード送信が有効で、出力データにファンクションコードが含まれている場合、バーコードリーダーはファンクションコードデータをホストに送信します。既定値：無効。



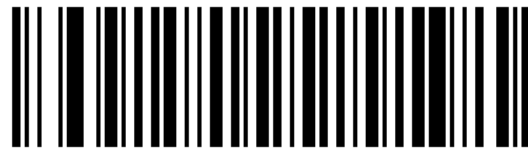
*無効にする



有効にする

3.9 バーコードの送信遅延

バーコードが送信されるたびに、最大 5000 ms (5 ms 単位) の遅延を設定できます。次のバーコードをスキャンし、遅延数量の付録チャート 5 ms をスキャンしてから、「保存」バーコードをスキャンします。



バーコードの遅延

バーコードの送信遅延をなくすには、「バーコード遅延」バーコードをスキャンし、遅延番号を 0 に設定します。付録チャートを使用して、「保存」バーコードをスキャンします。

例

バーコードを送信するための 100 ms 遅延を設定します。

最初に「バーコード遅延」をスキャンし、次に付録チャート「2」「0」($100 \text{ ms} / 5 \text{ ms} = 20$) をスキャンし、次に「保存」バーコードをスキャンして、100 ms の送信バーコード遅延を設定します。

4 バーコード設定

4.1 シンボル体系

すべてのシンボル体系

バーコードリーダーですべてのシンボルを読み取る必要がある場合は、「すべてのシンボルが有効」バーコードをスキャンしてください。特定のシンボルのみを読み取るには、「すべてのシンボルが無効」バーコードをスキャンしてから、その特定のシンボルの有効化バーコードをスキャンしてください。



すべてのエンコードが有効になっています



すべてのエンコーディングが無効になっています

i 注釈

「すべてのシンボルが有効」バーコードをスキャンした後、2D 郵便番号は既定では有効になりません。2D 郵便番号は別途有効にする必要があります。

読み取り長の説明

特定のシンボル体系の有効読み取り長を設定できます。読み取ったバーコードデータの長さが有効読み取り長と一致しない場合、バーコードリーダーはエラー音を発します。最小長と最大長を同じ値に設定すると、バーコードリーダーは固定長のバーコードを強制的に読み取るようになります。これにより、読み間違いを減らすことができます。

i 例

長さが 6 ～10 文字のバーコードのみが読み取られます。

最小の長さ = 06。最大長 = 10

1. シンボル体系を選択して最大読み取り長と最小読み取り長を設定し、そのディレクトリの下にある「最小読み取り長」バーコードをスキャンし、数値の「6」バーコードと付録チャートの「保存」バーコードをスキャンします。
2. 「最大読み取り長」バーコードをスキャンし、付録チャート、「0」からの数字「1」、および「保存」バーコードをスキャンします。

上記の手順により、選択したシンボル体系の最大読み取り長が 10 に設定され、最小読み取り長が 6 に設定されます。

1 次元シンボル体系

バーコードリーダーですべての 1D バーコードを読み取る必要がある場合は、「すべての 1D バーコードが有効」バーコードをスキャンしてください。特定のシンボル体系のみを読み取ることができます。「すべての 1D バーシンボル体系が無効」バーコードをスキャンしてください。



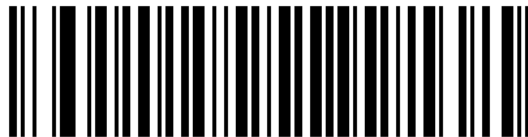
* すべての 1D バーコードが有効になりました



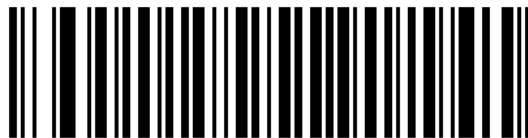
すべての 1 次元シンボル体系を無効にする

QR シンボル体系

バーコードリーダーですべてのバーシンボル体系を読み取る必要がある場合は、「すべての QR シンボル体系が有効」バーコードをスキャンしてください。特定のシンボル体系のみを読み取ることができます。「すべての QR シンボル体系が無効」バーコードをスキャンしてください。



* すべての QR シンボル体系が有効になっています



すべての QR コードが無効になっています

Codabar

注釈

すべての Codabar 設定を既定に設定する



Codabar の既定設定に戻す

有効化/無効化



* 有効にする



無効にする

スタート/ストップキャラクター

「スタート/ストップ」文字出力はバーコードの先頭と末尾に配置されます。スタート/ストップキャラクターを送信するかどうかを設定可能。既定値：送信なし。



伝染; 感染



* 送信しないでください

チェックキャラクター

チェックキャラクターなしとは、バーコードリーダーがチェックキャラクターの有無にかかわらずすべてのバーコードを読み取り、送信することを意味します。（このときチェックキャラクター付きのバーコードを読み取る場合は、チェックキャラクターも一緒に送信されます）

「チェックキャラクター」を「有効、チェックキャラクターを送信しない」に設定すると、バーコードリーダーはバーコードの最後の桁に基づいて検証を行います。検証に合格すると、最後のチェックキャラクターを除いた通常データが送信されます。検証が失敗した場合、バーコードの内容は送信されません。

「チェックキャラクター」が「有効、チェックキャラクターを送信する」に設定されている場合、バーコードリーダーはバーコードの最後の桁に基づいて検証を行います。検証が成功すると、チェックキャラクターが通常データの最後の桁とともに送信されます。検証が失敗した場合、バーコードの内容は送信されません。



* チェック文字なし



有効、チェックキャラクタを送信しない



有効化、チェックキャラクタの送信

カスケード

Codabar はバーコードの連結をサポートしています。カスケードが有効な場合、バーコードリーダーは、「D」ストップキャラクターを持つバーコードに隣接する「D」スタートキャラクターを持つ Codabar バーコードを探します。この場合、2 つのバーコードは 1 つに連結され、すべての「D」文字が省略されます。

A 1 2 3 4 D D 5 6 7 8 A

「Require」バーコードをスキャンして、バーコードリーダーが「D」文字で始まる隣接する Codabar バーコードなしで単一の「D」Codabar バーコードをデコードしないようにします。この選択は、ストップ/スタート D 文字のない Codabar には影響しません。



有効にする



必要



* 無効にする

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小長と最大長は 2 ～ 60 です。最小の既定値: 4、最大の既定値: 60。(注: 「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#) を参照してください)



最小読み取り長



最大読み取り長

Code 39

有効化/無効化



* 有効にする

注釈

既定の Code 39 構成



Code 39 の既定設定に戻す



無効にする

スタート/ストップキャラクター

「スタート/ストップキャラクター」はバーコードの最初と最後にあります。「スタート/ストップキャラクター」を送信する/送信しないを設定可能。既定値: 送信なし。



伝染; 感染



* 送信しないでください

チェックキャラクター

チェックキャラクターなしとは、バーコードリーダーがチェックキャラクターの有無にかかわらずすべてのバーコードを読み取り、送信することを意味します。(このときチェックキャラクター付きのバーコードを読み取る場合は、チェックキャラクターも一緒に送信されます)

「チェックキャラクター」を「有効、チェックキャラクターを送信しない」に設定すると、バーコードリーダーはバーコードの最後の桁に基づいて検証を行います。検証に合格すると、最後のチェックキャラクターを除いた通常データが送信されます。検証が失敗した場合、バーコードの内容は送信されません。

「チェックキャラクター」が「有効、チェックキャラクターを送信する」に設定されている場合、バーコードリーダーはバーコードの最後の桁に基づいて検証を行います。検証が成功すると、チェックキャラクターが通常データの最後の桁とともに送信されます。検証が失敗した場合、バーコードの内容は送信されません。



* チェック文字なし



有効、チェックキャラクターを送信しない



有効化、チェックキャラクターの送信

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小長と最大長は 0 ～48 です。最小の既定値: 0、最大の既定値: 48。(注: 「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#) を参照してください)



最小読み取り長



最大読み取り長

Code 32 Pharmaceutical (PARAF)

Code 32 医薬品は、イタリアの薬局で使用される Code 39 バーコードの形式です。Code 32 を構成する場合は、まず Code 39 を有効にしてから構成する必要があります。

このエンコーディングは PARAF とも呼ばれます。



有効にする



* 無効にする

FULL ASCII

Code 39 Full ASCII デコードが有効な場合、バーコード内の一部の文字は単一の文字にデコードされます。

例

\$V は、ASCII 文字 SYN にデコードされ、/C は、ASCII 文字 # にデコードされます。既定値：無効。

NUL%U	DLE\$P	SP SPACE	0 /P	@%V	P P	' %W	p +P
ソーサ	DC1 \$Q	!/A	1 /Q	A A	Q Q	a +A	q +Q
STX\$B	DC2 \$R	"/B	2 /R	B B	R R	b +B	r +R
ETX \$C	DC3 \$S	# /C	3 /S	C C	S S	c +C	s +S
EOT \$D	DC4 \$T	\$ /D	4 /T	D D	T T	d +D	t +T
ENQ \$E	NAK \$U	% /E	5 /U	E E	U U	e +E	u +U
確認 \$F	SYN\$V	& /F	6 /V	F F	V V	f +F	v +V
ベル \$G	ETB \$W	' /G	7 /W	G G	W W	g +G	w +W
BS\$H	CAN\$X	(/H	8 /X	H H	X X	h +H	x +X
HT \$I	EM \$Y	) /私	9 /Y	I I	Y Y	i +I	y +Y
LF \$J	サブ \$Z	* /J	:/Z	J J	Z Z	j +J	z +Z
VT\$K	ESC %A	+ /K	; %F	K K	[%K	k +K	{ %P
FF\$L	FS %B	, /L	< %G	L L	\ %L	l +L	%Q
CR \$M	GS %C	- /M	= %H	M M	] %M	m +M	} %R
とても	RS %D	. /N	> %I	N N	^ %N	n +N	~ %S
シソ	US %E	/ /O	? %J	O O	_ %O	o +O	DEL %T

文字ペア /M と /N は、それぞれマイナス記号とピリオドとしてデコードされます。/P ~ /Y の文字ペアは 0 ~ 9 としてデコードされます。



フル ASCII を有効にする



* フル ASCII が無効になりました

Interleaved 2 of 5

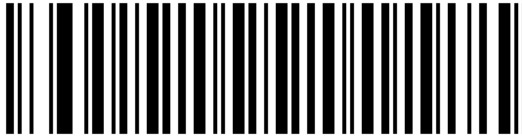
注釈

すべての Interleaved 2 of 5 設定を既定に設定する

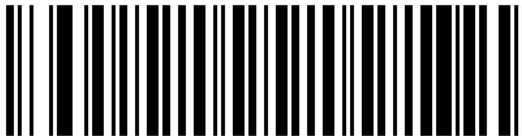


Interleaved 2 of 5 の既定設定に戻す

有効化/無効化



* 有効にする



無効にする

チェックキャラクター

チェックキャラクターなしとは、バーコードリーダーがチェックキャラクターの有無にかかわらずすべてのバーコードを読み取り、送信することを意味します。（このときチェックキャラクター付きのバーコードを読み取る場合は、チェックキャラクターも一緒に送信されます）

「チェックキャラクター」を「有効、チェックキャラクターを送信しない」に設定すると、バーコードリーダーはバーコードの最後の桁に基づいて検証を行います。検証に合格すると、最後のチェックキャラクターを除いた通常データが送信されます。検証が失敗した場合、バーコードの内容は送信されません。

「チェックキャラクター」が「有効、チェックキャラクターを送信する」に設定されている場合、バーコードリーダーはバーコードの最後の桁に基づいて検証を行います。検証が成功すると、チェックキャラクターが通常データの最後の桁とともに送信されます。検証が失敗した場合、バーコードの内容は送信されません。



* チェック文字なし



有効、チェックキャラクターを送信しない



有効化、チェックキャラクタの送信

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小長と最大長は 2～80 です。最小の既定値: 4、最大の既定値: 80。(注: 「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#) を参照してください)



最小読み取り長



最大読み取り長

NEC 2of5

有効化/無効化

注釈

すべての NEC 2 of 5 設定を既定に設定する



NEC 2 of 5 の既定設定に戻す



* 有効にする



無効にする

チェックキャラクター

チェックキャラクターなしとは、バーコードリーダーがチェックキャラクターの有無にかかわらずすべてのバーコードを読み取り、送信することを意味します。(このときチェックキャラクター付きのバーコードを読み取る場合は、チェックキャラクターも一緒に送信されます)

「チェックキャラクター」を「有効、チェックキャラクターを送信しない」に設定すると、バーコードリーダーはバーコードの最後の桁に基づいて検証を行います。検証に合格すると、最後のチェックキャラクターを除いた通常データが送信されます。検証が失敗した場合、バーコードの内容は送信されません。

「チェックキャラクター」が「有効、チェックキャラクターを送信する」に設定されている場合、バーコードリーダーはバーコードの最後の桁に基づいて検証を行います。検証が成功すると、チェックキャラクターが通常データの最後の桁とともに送信されます。検証が失敗した場合、バーコードの内容は送信されません。



* チェック文字なし



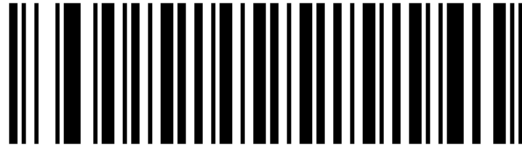
有効、チェックキャラクターを送信しない



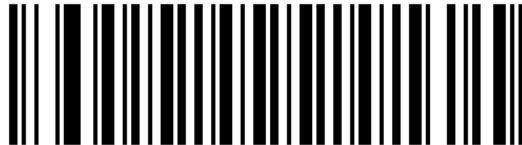
有効化、チェックキャラクターの送信

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小長と最大長は2～80です。最小の既定値: 4、最大の既定値: 80。(注: 「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#)を参照してください)



最小読み取り長



最大読み取り長

Code 93

注釈

すべての Code 93 設定を既定に設定する



Code 93 の既定設定に戻す

有効化/無効化



* 有効にする



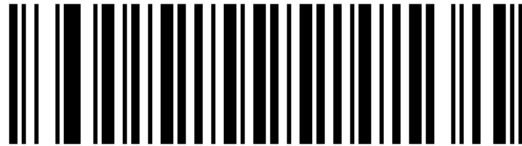
無効にする

読み取り長さ

バーコードをスキャンして、読み取り長を変更します。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小長と最大長は 0～80 です。最小の既定値: 0、最大の既定値: 80。(注: 「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要もあります。[読み取り長の説明](#) を参照してください)



最小読み取り長

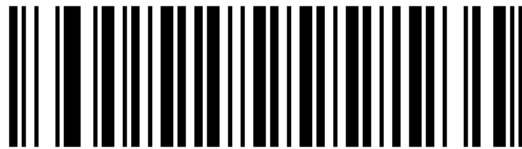


最大読み取り長

Straight 2 of 5 Industrial (three-bar start/stop)

注釈

ストレート 2/5 工業用既定設定の復元



ストレート 2/5 工業用既定設定の復元

有効化/無効化



有効にする



* 無効にする

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小長と最大長は1～48です。最小の既定値：4、最大の既定値：48。(注：「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#)を参照してください)



最小読み取り長

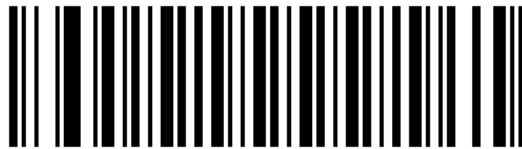


最大読み取り長

Straight 2 of 5 IATA (two-bar start/stop)

注釈

Straight 2 of 5 IATA の既定設定に戻す



Straight 2 of 5 IATA の既定設定に戻す

有効化/無効化



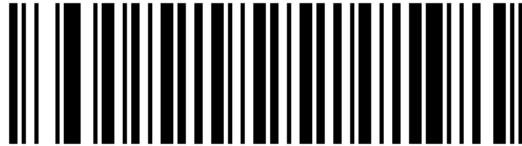
有効にする



* 無効にする

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小長と最大長は1～48です。最小の既定値：4、最大の既定値：48。(注：「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#)を参照してください)



最小読み取り長



最大読み取り長

Matrix 2 of 5

注釈

すべての Matrix 2 of 5 設定が既定になります



Matrix 2 of 5 の既定設定に戻す

有効化/無効化



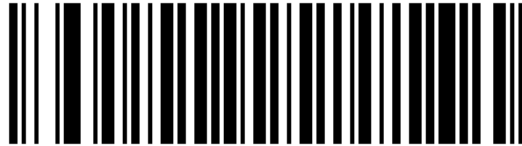
有効にする



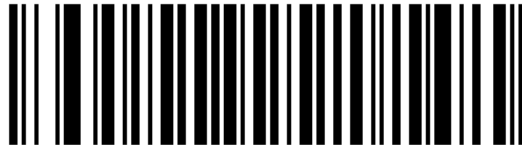
* 無効にする

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小長と最大長は 1～80 です。最小の既定値：4、最大の既定値：80。(注：「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#) を参照してください)



最小読み取り長



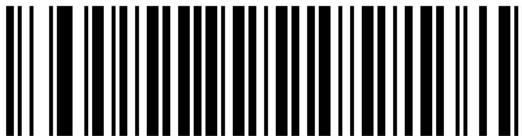
最大読み取り長

チェック

このオプションは、Matrix 2 of 5 コード検証機能の有効化と無効化を設定します。



検証を有効にする



* 検証を無効にする

Code 11

注釈

すべての設定を既定にする



Code 11 の既定設定に戻す

有効化/無効化



有効にする



* 無効にする

チェックデジット

このオプションは、Code 11 バーコードに1つまたは2つのチェックデジットを設定します。
既定値：2つのチェックデジット。



チェックデジット



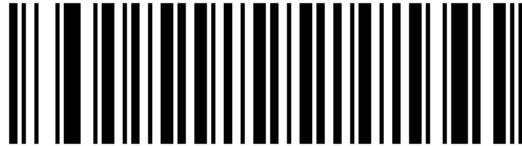
* 2つのチェックデジット

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小長と最大長は1～80です。最小の既定値：4、最大の既定値：80。(注：「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#)を参照してください)



最小読み取り長



最大読み取り長

Code 128

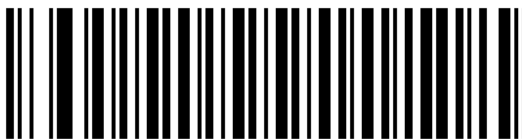
注釈

すべての Code 128 設定を既定に設定する



Code 128 の既定設定に戻す

有効化/無効化



* 有効にする



無効にする

ISBT 128 カスケード



ISBT 128 が有効になっています



* ISBT 128 が無効になっています

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小長と最大長は 0 ～ 80 です。最小の既定値: 0、最大の既定値: 80。(注: 「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#) を参照してください)



最小読み取り長



* 最大読み取り長

GS1-128

注釈

すべての GS1-128 設定を既定に設定する



GS1-128 の既定設定に戻す

有効化/無効化



* 有効にする



無効にする

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小長と最大長は1～80です。最小の既定値：1、最大の既定値：80。(注：「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#)を参照してください)



最小読み取り長



最大読み取り長

UPC-A

注釈

すべての UPC-A 設定を既定に設定する



UPC-A の既定設定に戻す

有効化/無効化



* 有効にする



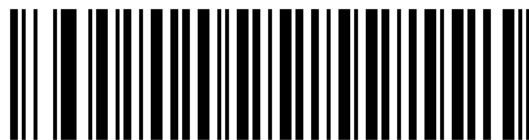
無効にする

チェックデジット

以下は、出力データの最後にチェックデジットを送信するかどうかを設定します。既定値：有効。



* 有効にする



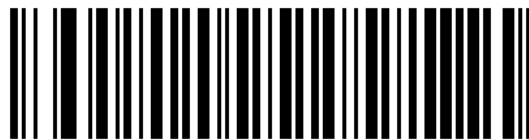
無効にする

デジタルシステム

UPC 数値システム文字は通常、出力データの先頭で送信されます (既定値：有効)。



* 有効にする



無効にする

追加コード

この設定により、読み取られたすべての UPC-A データの末尾に 2 桁または 5 桁の追加コードが追加されます。

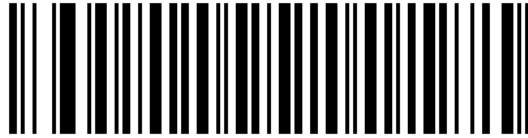
既定値：2/5 桁のアドオンコードは無効です。



2 桁のアドオンコードが有効です



* 2桁の付録は無効です



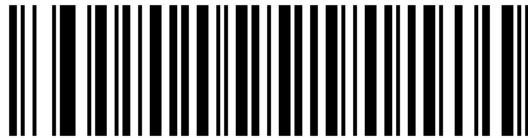
5桁のアドオンコードが有効です



* 5桁の付録は無効です

必要なアドオンコード

「必須」をスキャンすると、バーコードリーダーは追加コードを含む UPC-A バーコードのみを読み取ります。次に、2桁または5桁のアドオンコードを有効にする必要があります。既定値：必要ありません。



必要



* 不要

追加のコード区切り文字

この機能を有効にすると、バーコードと追加コードがスペースで区切られます。無効にすると、スペースの分離は行われません。既定値：有効。



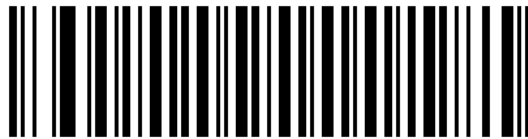
* 有効にする



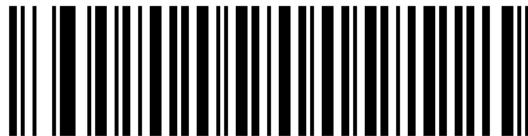
無効にする

i 注釈

次の設定コードを使用して、UPC-A を EAN-13 に変換できます。



回らない



変化

UPC-E0

i 注釈

すべての UPC-E 設定を既定に設定する



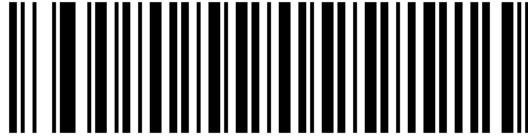
UPC-E の既定設定に戻す

有効化/無効化

ほとんどの UPC バーコードは 0 桁システムで始まります。これらのバーコードを読み取るには、「*UPC-E0 Enable」バーコードをスキャンします。1 桁システムでバーコードを読み取る必要がある場合は、「UPC-E1 有効」をスキャンしてください。既定値: UPC-E0 が有効です。



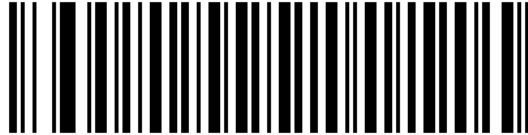
* UPC-E0 が有効になりました



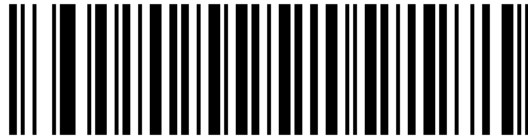
UPC-E0 が無効になっています

バーコード拡張子

UPC-E Expand は、UPC-E バーコードを 12 桁の UPC-A 形式に展開します。既定値：無効。



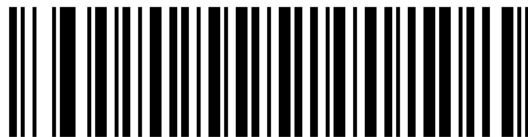
有効にする



* 無効にする

必要なアドオンコード

「必須」をスキャンすると、バーコードリーダーは追加コードを含む UPC-E バーコードのみを読み取ります。既定値：必要ありません。



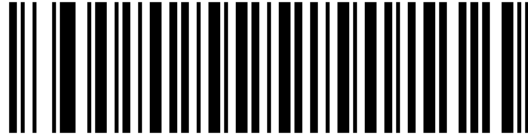
必要



* 不要

追加のコード区切り文字

この機能を有効にすると、バーコードと追加コードがスペースで区切られます。無効にすると、スペースの分離は行われません。既定値：有効。



* 有効にする



無効にする

チェックデジット

以下は、出力データの最後にチェックデジットを送信するかどうかを設定します。既定値：有効。



* 有効にする



無効にする

デジタルシステム

UPC の数値システム文字は、通常、出力データの先頭で送信されます。既定値：有効。



* 有効にする



無効にする

追加コード

この設定により、読み取られたすべての UPC-E データの末尾に 2/5 桁の追加コードが追加されます。既定値: 2/5 桁のアドオンコードは無効です。



2 桁のアドオンコードが有効です



* 2 桁の付録は無効です



5 桁のアドオンコードが有効です



* 5 桁の付録は無効です

UPC-E1

ほとんどの UPC バーコードは 0 桁システムで始まります。これらのバーコードを読み取るには、「*UPC-E0 Enable」バーコードをスキャンします。1 桁システムでバーコードを読み取る必要がある場合は、「UPC-E1 有効」をスキャンしてください。既定値: UPC-E1 は無効です。



UPC-E1 が有効になっています

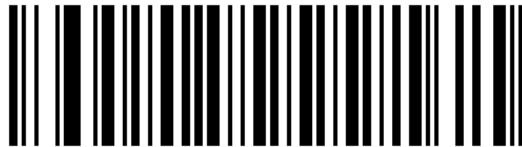


* UPC-E1 が無効になっています

EAN/JAN-13

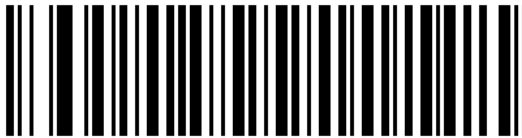
注釈

すべての EAN/JAN 設定を既定にします

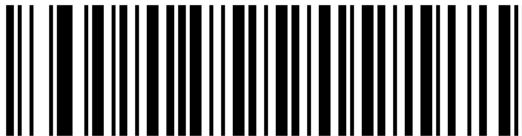


EAN/JAN-13 の既定設定に戻す

有効化/無効化



* 有効にする



無効にする

注釈

UPC-A バーコードを EAN-13 形式に変換する場合は、無効化された UPC-A バーコードをスキャンします。

チェックデジット

以下は、出力データの最後にチェックデジットを送信するかどうかを設定します。既定値：有効。



* 有効にする



無効にする

追加コード

この設定では、読み取られたすべての EAN/JAN-13 データの末尾に 2/5 桁の追加コードが追加されます。

既定値: 2/5 桁のアドオンコードは無効です。



2 桁のアドオンコードが有効です



* 2 桁の付録は無効です



5 桁のアドオンコードが有効です



* 5 桁の付録は無効です

必要なアドオンコード

「必須」をスキャンすると、バーコードリーダーは追加コードを含む EAN/JAN-13 バーコードのみを読み取ります。既定値: 必要ありません。



必要



* 不要

追加のコード区切り文字

この機能を有効にすると、バーコードと追加コードがスペースで区切られます。無効にすると、スペースの分離は行われません。既定値：有効。



* 有効にする



無効にする

ISBN Translate

ISBN 表記で送信するように設定すると、EAN-13 ブックランド表記は同等の ISBN 表記形式に変換されます。既定値：無効。



有効にする

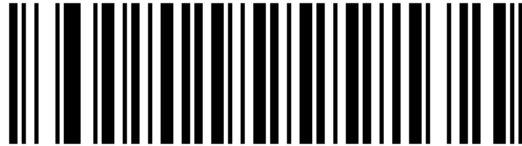


* 無効にする

EAN/JAN-8

注釈

すべての EAN/JAN-8 設定を既定にします

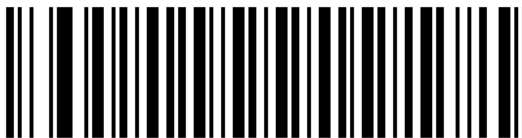


EAN/JAN-8 の既定設定に戻す

有効化/無効化



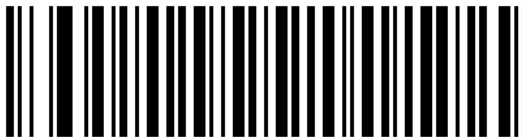
* 有効にする



無効にする

チェックキャラクター

出力データの最後にチェックキャラクタを送信するかどうかを設定します。既定値：有効。



* 有効にする



無効にする

追加コード

この設定では、読み取られたすべての EAN/JAN-13 データの末尾に 2/5 桁の追加コードが追加されます。

既定値：2/5 桁のアドオンコードは無効です



2 桁のアドオンコードが有効です



* 2 桁の付録は無効です



5 桁のアドオンコードが有効です



5 桁のアドオンコードが有効です



* 5 桁の付録は無効です

必要なアドオンコード

「必須」をスキャンすると、バーコードリーダーは追加コードを含む EAN/JAN-8 バーコードのみを読み取ります。既定値: 必要ありません。



必要



* 不要

追加のコード区切り文字

この機能を有効にすると、バーコードと追加コードがスペースで区切られます。無効にすると、スペースの分離は行われません。既定値：有効。



* 有効にする



無効にする

MSI

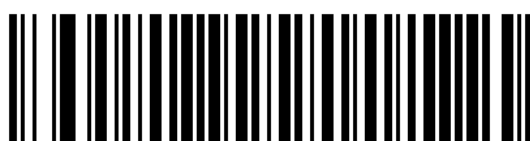
注釈

すべての MSI 設定を既定にします



MSI の既定設定に戻す

有効化/無効化



有効にする



* 無効にする

チェックキャラクター

MSI バーコードは、さまざまな種類のチェック文字を使用します。チェックキャラクターを使用して MSI バーコードを読み取るようにバーコードリーダーを設定できます。既定値: MOD10 は有効ですが、送信されません。

「チェックキャラクター」が「MOD10 を有効にして送信する」に設定されている場合、バーコードリーダーは、指定された種類のチェックキャラクターが印刷された MSI バーコードのみを読み取って使用し、出力データの最後にキャラクターを送信します。

[チェックキャラクター] が [MOD10 を有効にするが送信しない] に設定されている場合、デバイスは指定されたタイプのチェックキャラクターで印刷された MSI バーコードのみを読み取り、使用しますが、スキャンされたチェックキャラクターは送信しません。



* MOD10 を有効にしますが、送信はしません



MOD10 を有効にして送信する



MSI チェック文字を無効にする

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小および最大の長さは 4～48 です。最小の既定値: 4、最大の既定値: 48。(注: 「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#)を参照してください)



最小読み取り長



最大読み取り長

GS1 DataBar Omnidirectional

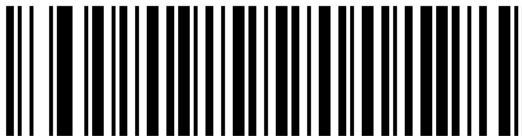
注釈

すべての GS1 DataBar 全方向設定を既定にします



GS1 DataBar 全方向の既定設定に戻す

有効化/無効化



* 有効にする



無効にする

GS1 DataBar Limited

注釈

すべての GS1 DataBar Limited 設定を既定に設定する



GS1 DataBar Limited の既定設定に戻す

有効化/無効化



* 有効にする



無効にする

GS1 DataBar Expanded

注釈

すべての設定を既定にする



GS1 DataBar Expanded の既定設定に戻す

有効化/無効化



* 有効にする



無効にする

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小長と最大長は4～74です。最小の既定値：4、最大の既定値：74。(注: 「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定され

た読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要もあります。読み取り長の説明を参照してください)



最小読み取り長

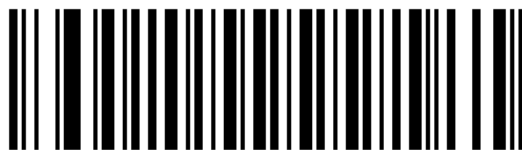


最大読み取り長

PDF417

注釈

すべての PDF417 設定を既定に設定する



PDF417 の既定設定に戻す

有効化/無効化



* 有効にする



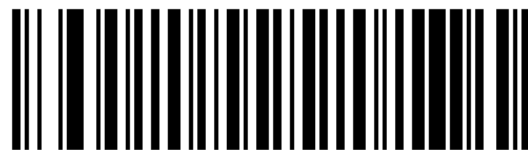
無効にする

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小長と最大長は1～2750です。最小の既定値：1、最大の既定値：2750。(注：「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#)を参照してください)



最小読み取り長



最大読み取り長

QR Code

注釈

すべての QR Code 設定を既定に設定する



QR Code および Micro QR Code の既定設定に戻す

有効化/無効化



* 有効にする



無効にする

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小および最大の長さは1～7089です。最小の既定値: 1、最大の既定値: 7089。(注: 「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#)を参照してください)



最小読み取り長



最大読み取り長

Data Matrix

注釈

すべての Data Matrix 設定を既定に設定する



Data Matrix の既定設定に戻す

有効化/無効化



* 有効にする



無効にする

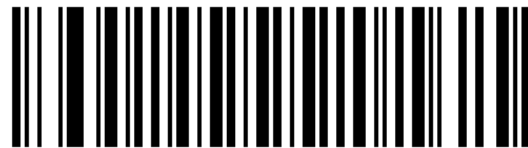
読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小および最大長は1～3116です。最小の既定値: 1、最大の既定値: 3116。(注: 「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#)を参照してください)



最大読み取り長

最小読み取り長

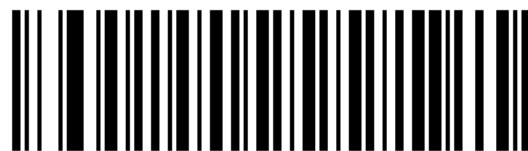


最大読み取り長

Aztec Code

注釈

すべての Aztec コード設定を既定に設定する



Aztec コードの既定設定に戻す

有効化/無効化



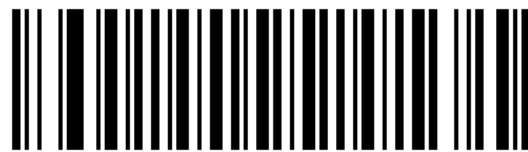
* 有効にする



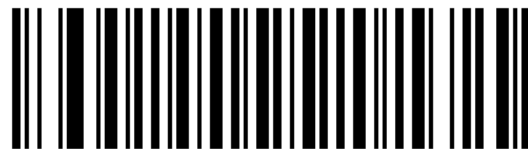
無効にする

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小および最大の長さは 1 ～ 3832 です。最小の既定値: 1、最大の既定値: 3832。(注: 「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要もあります。[読み取り長の説明](#)を参照してください)



最小読み取り長



最大読み取り長

China Post (Hong Kong 2 of 5)

注釈

すべての中国郵便 (香港 2/5) 設定が既定になります



中国郵便の既定設定に戻す

有効化/無効化



有効にする



* 無効にする

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小長と最大長は2～80です。最小の既定値: 4、最大の既定値: 80。(注: 「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#)を参照してください)



最小読み取り長



最大読み取り長

Korea Post

注釈

すべての設定を既定にする



韓国郵便の既定設定に戻す

有効化/無効化



有効にする



* 無効にする

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小長と最大長は2～80です。最小の既定値：4、最大の既定値：48。(注：「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#)を参照してください)



最小読み取り長



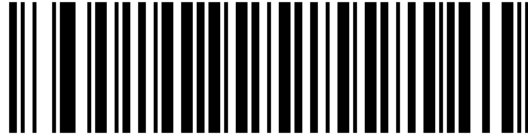
最大読み取り長

チェックデジット

次のバーコードをスキャンして、出力データの最後にチェックデジットを送信するかどうかを判断します。既定値：無効。



有効にする



*無効にする

Han Xin Code

有効化/無効化



有効にする

注釈

Han Xin の設定をすべて既定に設定する



Han Xin コードの既定設定に戻す



*無効にする

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小長と最大長は1～1000です。最小の既定値: 1、最大の既定値: 1000。(注: 「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#)を参照してください)



最小読み取り長



最大読み取り長

MaxiCode

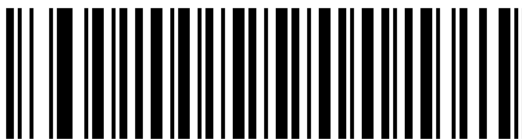
注釈

すべての MaxiCode 設定を既定に設定する

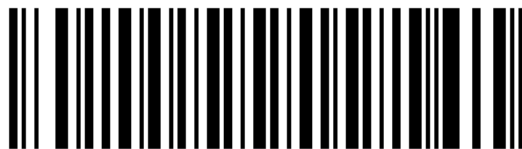


MaxiCode の既定設定に戻す

有効化/無効化



有効にする



無効にする

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小長と最大長は1～150です。最小の既定値：1、最大の既定値：150。(注：「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#)を参照してください)



最小読み取り長

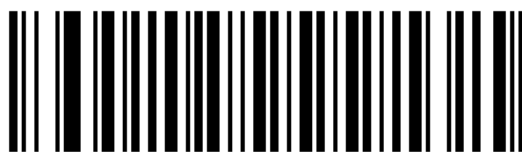


最大読み取り長

Micropdf

注釈

すべての micropdf 設定を既定に設定する



MicroPDF417 の既定設定に戻す

有効化/無効化



有効にする



無効にする

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小長と最大長は 1～366 です。最小の既定値: 1、最大の既定値: 366。(注: 「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#) を参照してください)



最小読み取り長

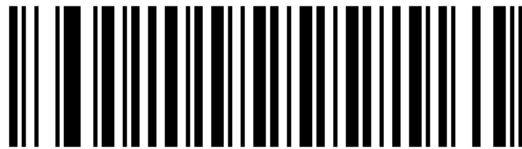


最大読み取り長

GS1 Composite Code

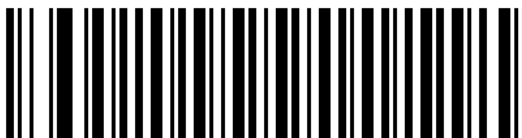
注釈

すべてのコンポジットの既定設定

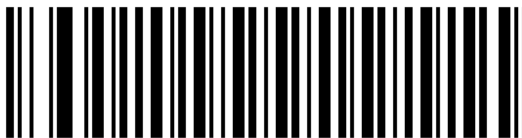


GS1 Composite の既定設定に戻す

有効化/無効化



有効にする



無効にする

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小および最大長は1～2435です。最小の既定値：1、最大の既定値：2435。(注：「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#)を参照してください)



最小読み取り長

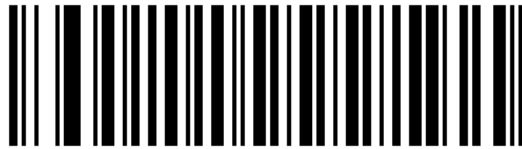


最大読み取り長

Codablock A

注釈

すべてのコンポジットの既定設定



Codablock A の既定設定に戻す

有効化/無効化



有効にする



無効にする

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小長と最大長は1～600です。最小の既定値：1、最大の既定値：600。(注：「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#)を参照してください)



最小読み取り長

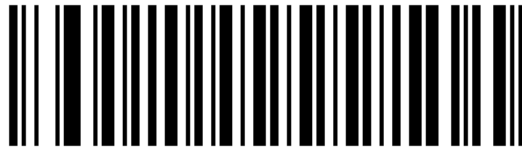


最大読み取り長

Codablock F

注釈

すべてのコンポジットの既定設定



Codablock F の既定設定に戻す

有効化/無効化



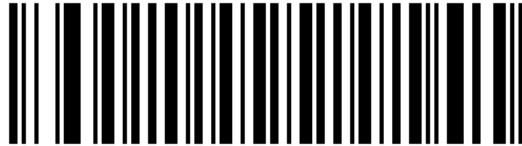
有効にする



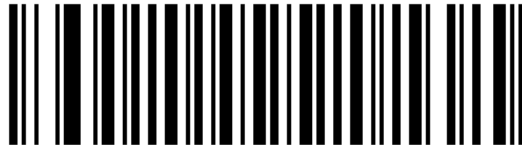
無効にする

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小長と最大長は1～2048です。最小の既定値：1、最大の既定値：2048。(注：「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#)を参照してください)



最小読み取り長



最大読み取り長

5 付録

5.1 1次元シンボル体系

Symbology	AIM	Newtologic	ID	Hex
	ID	可能な修飾子 (m)	ID	Hex
All Symbologies				99
Codabar	]FM	0-1	a	61
Code 11	]H3		h	68
Code 128	]Cm	0, 1, 2, 4	j	6A
Code 32	]X0		<	3C
Pharmaceutical (PARAF)				
Code 39 (supports Full ASCII mode)	]午前	0, 1, 3, 4, 5, 7	b	62
TCIF Linked Code 39 (TLC39)	]L2		T	54
Code 93 and 93i	]ぐむ	0-9, A-Z, a-m	i	69
EAN	]ええと	0, 1, 3, 4	d	64
EAN-13 (including Bookland EAN)	]E0		d	64
EAN-13 with Add-On	]E3		d	64
EAN-13 with Extended Coupon Code	]E3		d	64
EAN-8	]E4		D	44

次のページに続く

表 1 – 前のページからの続き

Symbology	AIM	Newtologic		
EAN-8 with Add-On	]E3		D	44
GS1				
GS1 DataBar	] 彼ら	0	y	79
GS1 DataBar Limited	] 彼ら		{	7B
GS1 DataBar Expanded	] 彼ら		}	7D
GS1-128	]C1		I	49
2 of 5				
China Post (Hong Kong 2 of 5)	]X0		Q	51
Interleaved 2 of 5	] 私は	0, 1, 3	e	65
Matrix 2 of 5	]X0		m	6D
NEC 2 of 5	]X0		Y	59
Straight 2 of 5 IATA	] うーん	0, 1, 3	f	66
Straight 2 of 5 Industrial	]S0		f	66
MSI	] うーん	0, 1	g	67
Telepen	]Bm		t	74
UPC		0, 1, 2, 3, 8, 9, A, B, C		
UPC-A	]E0		c	63
UPC-A with Add-On	]E3		c	63
UPC-A with Extended Coupon Code	]E3		c	63
UPC-E	]E0		E	45
UPC-E with Add-On	]E3		E	45
UPC-E1	]X0		E	45
Add Newtologic Code ID				5C80
Add AIM Code ID				5C81
Add Backslash				5C5C
Batch Mode			5	35
Quantity				

5.2 QR シンボル体系

Symbology	AIM		Newtologic	
	ID	可能な修飾子 (m)	ID	Hex
All Symbologies				99
Aztec Code	] zm	0-9, A-C	z	7A
Chinese Sensible Code (Han Xin Code)	]X0		H	48
Codablock A	]O6	0, 1, 4, 5, 6	V	56
Codablock F	] ああ	0, 1, 4, 5, 6	q	71
Code 49	]Tm	0, 1, 2, 4	l	6C
Data Matrix	]dm	0-6	w	77
GS1	] 彼ら	0-3	y	79
GS1 Composite	] 彼ら	0-3	y	79
GS1DataBar Omnidirectional	] 彼ら	0-3	y	79
MaxiCode	] えーっと	0-3	x	78
PDF417	] うーん	0-2	r	72
MicroPDF417	] うーん	0-5	R	52
QR Code	]Qm	0-6	s	73
Micro QR	]Qm		s	73

5.3 郵便番号

Symbology	AIM		Newtologic	
	ID	可能な修飾子 (m)	ID	Hex
All Symbologies				99
Australian Post	]X0		A	41
British Post	]X0		B	42
Canadian Post	]X0		C	43
China Post	]X0		Q	51
InfoMail	]X0		,	2c
Intelligent Mail Bar Code	]X0		M	4D
Japanese Post	]X0		J	4A
KIX (Netherlands) Post	]X0		K	4B
Korea Post	]X0		?	3F
Planet Code	]X0		L	4C
Postal-4i	]X0		N	4E
Postnet	]X0		P	50

5.4 ASCII 変換表

16 進数	10 進数	キャラクター
00	0	NUL (ヌル文字)
01	1	SOH (ヘッダーの開始)
02	2	STX (テキストの開始)
03	3	ETX (テキストの終わり)
04	4	EOT (送信終了)

次のページに続く

表 2 – 前のページからの続き

16 進数	10 進数	キャラクター
05	5	ENQ (お問い合わせ)
06	6	ACK (確認応答)
07	7	BEL (ベル)
08	8	BS (バックスペース)
09	9	HT (水平 Tab)
0a	10	LF (改行)
0b	11	VT (垂直 Tab)
0c	12	FF (フォームフィード)
0d	13	CR (キャリッジリターン)
0e	14	SO (シフトアウト)
0f	15	SI (シフトイン)
10	16	DLE (データリンクエスケープ)
11	17	DC1 (XON) (デバイス制御 1)
12	18	DC2 (デバイス制御 2)
13	19	DC3 (XOFF) (デバイス制御 3)
14	20	DC4 (デバイス制御 4)
15	21	NAK (否定応答)
16	22	SYN (同期アイドル)
17	23	ETB (送信ブロックの終了)
18	24	CAN (キャンセル)
19	25	EM (メディアの終わり)
1a	26	SUB (サブ)
1b	27	ESC (エスケープ)
1c	28	FS (ファイルセパレータ)
1d	29	GS (グループセパレーター)
1e	30	RS (送信要求)
1f	31	US (単位区切り記号)
20	32	SP (スペース)
21	33	! (感嘆符)
22	34	" (二重引用符)
23	35	# (Number Sign)
24	36	\$ (ドル記号)
25	37	% (パーセント)
26	38	& (アンパサンド)
27	39	` (一重引用符)
28	40	((右/右括弧)
29	41	) (右/右括弧)
2a	42	* (アスタリスク)
2b	43	+ (プラス)
2c	44	, (カンマ)
2d	45	- (Minus / Dash)
2e	46	。(ドット)
2f	47	/ (フォワードスラッシュ)
30	48	0
31	49	1
32	50	2

次のページに続く

表 2 - 前のページからの続き

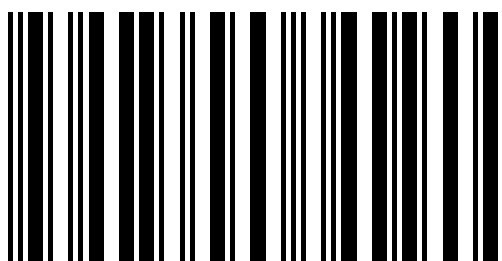
16 進数	10 進数	キャラクター
33	51	3
34	52	4
35	53	5
36	54	6
37	55	7
38	56	8
39	57	9
3a	58	: (結腸)
3b	59	; (セミコロン)
3c	60	< (未満)
3d	61	= (等号)
3e	62	> (Greater Than)
3f	63	? (疑問符)
40	64	@ (AT 記号)
41	65	A
42	66	B
43	67	C
44	68	D
45	69	E
46	70	F
47	71	G
48	72	H
49	73	I
4a	74	J
4b	75	K
4c	76	L
4d	77	M
4e	78	N
4f	79	O
50	80	P
51	81	Q
52	82	R
53	83	S
54	84	T
55	85	U
56	86	V
57	87	W
58	88	X
59	89	Y
5a	90	Z
5b	91	[(左/開き括弧)
5c	92	\ (バックスラッシュ)
5d	93	] (右/閉じ括弧)
5e	94	^ (キャレット/サーカムフレックス)
5f	95	_ (アンダースコア)
60	96	' (グレイブアクセント)
61	97	a

次のページに続く

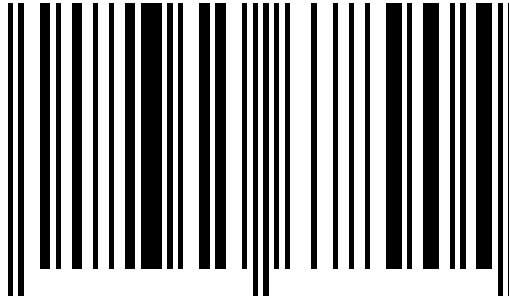
表 2 - 前のページからの続き

16 進数	10 進数	キャラクター
62	98	b
63	99	c
64	100	d
65	101	e
66	102	f
67	103	g
68	104	h
69	105	i
6a	106	j
6b	107	k
6c	108	l
6d	109	m
6e	110	n
6f	111	o
70	112	p
71	113	q
72	114	r
73	115	s
74	116	t
75	117	u
76	118	v
77	119	w
78	120	x
79	121	y
7a	122	z
7b	123	{ (左/左中括弧)
7c	124	(縦棒)
7d	125	} (右/右中括弧)
7e	126	~ (チルダ)
7f	127	DEL (削除)

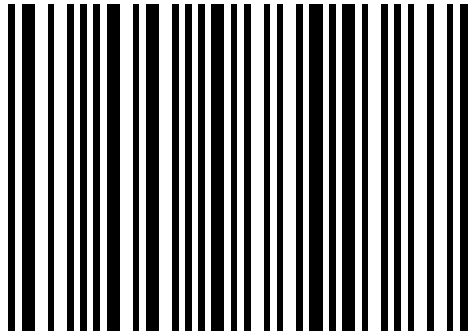
5.5 バーコードの例



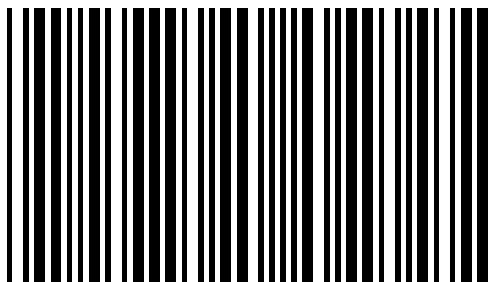
コンテンツ例: 1234567890



コンテンツ例: 0012345678905



コンテンツ例: A13579B



コンテンツ例: BC321



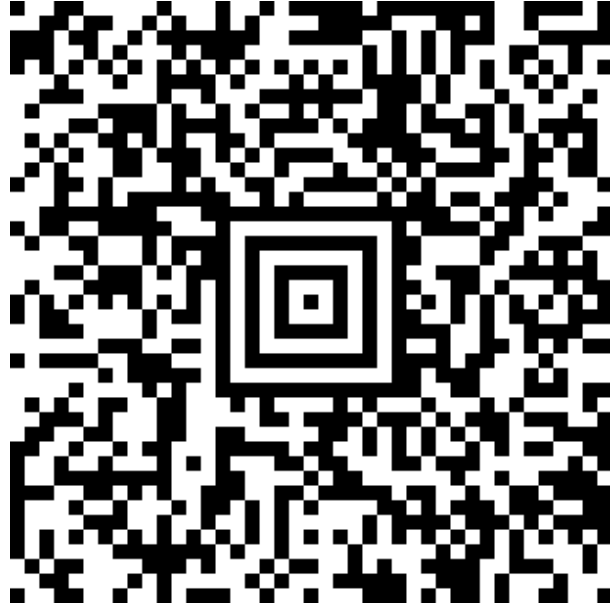
コンテンツ例: 9780330290951



コンテンツ例: Code 128



コンテンツ例: 123456-9\$



コンテンツ例: Package #98765-43210<CR><LF>Ship To:<CR><LF>Jane Doe<CR><LF>123 Main
Street<CR><LF>Anywhere, NY 12345<SUB>



コンテンツ例: 01234567

Matrix 2 of 5



6543210

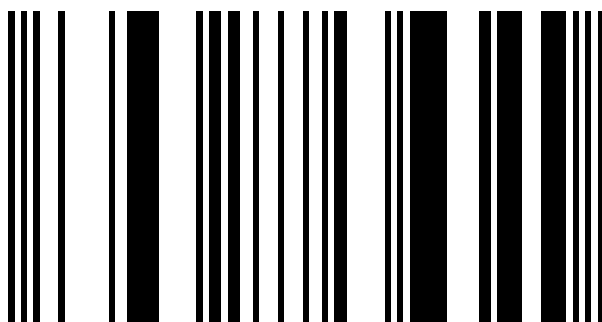
バーコードのサンプル画像

Straight 2 of 5 Industrial

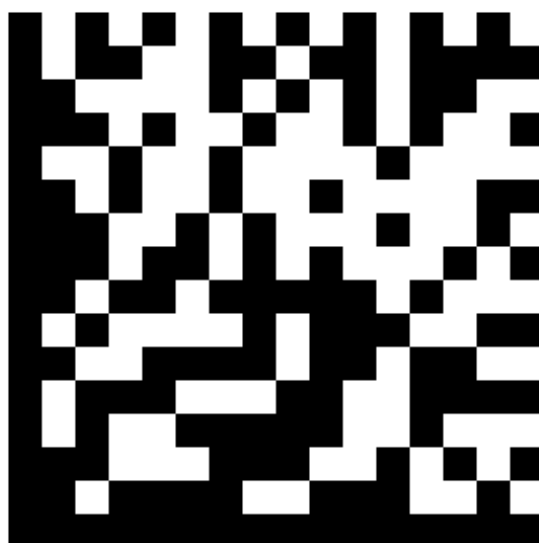


123456

バーコードのサンプル画像



コンテンツ例: (01)00123456789012



コンテンツ例: Test Symbol

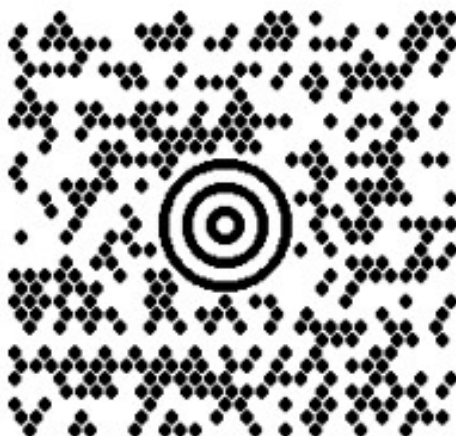
Micro PDF417



Test Message

バーコードのサンプル画像

MaxiCode



Test Message

バーコードのサンプル画像



コンテンツ例: 1998 Chev Blazer<CR>123437486089J672<CR>Reg PAN 123 ABC Dec 1999

5.6 付録チャート



0



1



2



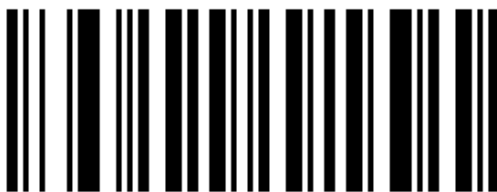
3



4



5



6



7



8



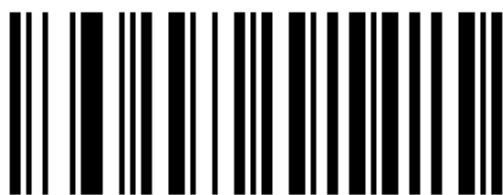
9



A



B



C



D



E



F



保存



あきらめる

 注釈

文字または数字のスキャン中に (「保存」バーコードをスキャンする前に) エラーが発生した場合は、「破棄」バーコードをスキャンし、正しい文字または数字を再スキャンしてから、「保存」バーコードをスキャンします。

5.7 キーボード操作 ASCII 変換

16 進数	10 進数	CTRL+X	説明する
00	0	CTRL+@	
01	1	CTRL+A	すべて選択
02	2	CTRL+B	大胆な
03	3	CTRL+C	コピー
04	4	CTRL+D	フォント形式
05	5	CTRL+E	中央揃え
06	6	CTRL+F	探す
07	7	CTRL+G	位置
08	8	CTRL+H	交換する
09	9	CTRL+I	イタリック体
0a	10	CTRL+J	正当化する
0b	11	CTRL+K	ハイパーリンク
0c	12	CTRL+L	左揃え
0d	13	CTRL+M	左インデント
0e	14	CTRL+N	新しい
0f	15	CTRL+O	開ける
10	16	CTRL+P	印刷する
11	17	CTRL+Q	
12	18	CTRL+R	右揃え
13	19	CTRL+S	保存
14	20	CTRL+T	1 行目のインデント
15	21	CTRL+U	下線 F12
16	22	CTRL+V	ペースト F1
17	23	CTRL+W	ディスク書き込みを終了 F2
18	24	CTRL+X	カット F3
19	25	CTRL+Y	繰り返す F4
1a	26	CTRL+Z	キャンセル F5
1b	27	CTRL+[	F6
1c	28	CTRL+\	F7
1d	29	CTRL+]	F8
1e	30	CTRL+^	F9
1f	31	CTRL+_	F10
7f	32	CTRL+	